株式会社アオノ様
（ファーマシーアオノ薬局様）

【歴史・特徴】

千葉県市川市を中心に9店舗を展開されている株式会社アオノ様。代表の青野社長は製薬メーカーでのMR勤務を経て2003年に入社、2014年に先代の跡を継がれました。

同社の始まりは1965年の創業当時、行政機関による支援が少なかった市川市南部エリアで、保健婦や小児科医の方々と協力して地域の「育児相談会」を開いたことがきっかけでした。このとき生まれた地域との繋がりを守りながら店舗が増え、現在は市川・東京江戸川・流山・柏エリアへと展開されています。もともとは一般薬中心の店舗形態でしたが、時代の変化とともに成長を続け、現在は売上の95%が処方箋調剤となっています。一方で原点であるセルフメディケーションへの思いも大切にされており、先日は6店舗で温そわか（ジョヴィ推奨品）の試飲会を行うなど、全社で様々な取り組みにチャレンジされています。

また、調剤だけでなく在宅医療や鍼灸、福祉用具の貸与まで行う「多機能薬局」として親しまれているのも大きな特徴です。こうした多角化は会社主導ではなく、「社員のみなさんのやってみたいという声」から立ち上がったものでした。新卒入社した薬剤師の方が働きながら勉強して鍼灸の資格を取り、現在その拠点を任されていたり、「福祉用具の仕事に挑戦したい」という社員の声から事業が立ち上がったりしています。130名超の社員のみなさんがお店を好きで長く勤め、患者様と深い信頼関係を築かれていることが、同社の確固たる強みとなっています。



店舗外観

【店舗展開】

青野社長が入社された当時は、多額の借入があり純資産はゼロに近く厳しい状況だったそうですが、会社を継ぐ覚悟から「借入を無くすこと」を毎日のモチベーションに経営を整え、無借金化を果たしました。手元にお金を残せるようになったことで、有事の際にスピーディかつ臨機応変に対応できる体制が整い、現在の健全な財務体制となりました。また、各店舗は駅前に立地しており、多くは医療機関側からのご依頼から開局されたものです。医療機関との関係性を深めるために、定期的な勉強会の開催や面談などで密なコミュニケーションを取られているそうです。

さらに、同社では高い専門性の確立にもいち早く取り組まれています。現在は「健康サポート薬局」を1店舗、「地域連携薬局」を2店舗認定されているほか、4店舗に「無菌調剤室」を導入。各種加算も取得されており、国が求める体制や薬局像に沿う形で取り組んできたことが、そのまま現在の専門性の高さに繋がっています。

導入当初は少なかった無菌調剤の稼働も、今ではほぼ毎日フル稼働しており、社員のみなさんのスキルアップやスキルの継承にも繋がっています。

こうした人材の育成においては、社員には同社の五訓（1. 相手の立場に立って物事を考える 2. 静かな心で 3. 早く正確に 4. 他者批判の前に自分を見つめ直す 5. 一日一日を精一杯生きる）を大切にする姿勢を求めているほか、会社や店舗が目指す方向性や方針をいつも明確に示されています。


店内


スタッフ様

【医療用医薬品のお取引について】

そんな同社では、2023年6月からジョヴィより医療用医薬品をご購入いただいております。お取引以前は価格条件の維持や毎年の価格交渉にかかる労力・ご負担が非常に大きかったそうですが、導入後は「仕入れにかかる作業がとてもとても楽になった」と笑顔でお話しくださいました。発注先を選ぶ権利（帳合権）を薬局側に残したまま効率化できる点や、以前からOTC取引があった安心感が決定打となったそうです。交渉にかかる時間がぐっと減ったことで、対人業務をはじめとする本来の業務に集中できるようになりました。

また、お支払いサイトを診療報酬の入金サイクルよりも早い30日サイトでご契約いただいていることも特徴です。「現預金を手元に眠らせておくよりも、早期決済の方が経営にプラスであり、ジョヴィとも良い関係（ウィンウィン）を作れる」という経営判断によるものです。そして「これができるのも従業員みんなのおかげ」というお言葉が印象的でした。今後のビジョンとしては、処方箋枚数の向上やOTC・健康食品の品揃え強化、個人在宅の強化を行い、さらなる多機能化を目指されるとのことです。


青野社長

【取材をさせていただいて】

地域貢献にかける全社一丸の想いに感銘を受けるとともに、日頃から感じていた専門性の高さや社員の皆様の活気や温かみのある雰囲気の理由のすべてを、深く腑に落ちる形で学ばせていただきました。

弊社サービスが業務の効率化や患者様と向き合う時間の創出にお役に立てていることをお聞きし、大変うれしく思っております。このたびはお忙しい中、快く取材に応じていただき本当にありがとうございました。